

「子どもの生活に関する実態調査」結果のポイント

奈良県が2020年3月30日に発表した、「子どもの生活に関する実態調査」結果の概要を紹介します。子どもと過ごす時間について「とれている」が小学5年生のいる世帯75.7%に対して、中学2年生のいる世帯では65.1%となっています。子どもの将来についての不安は「十分な教育費の確保が困難」が43.8%で最も多く、次いで「子どもの自立について」が31.2%となっています。子ども自身の回答では64.3%の子どもが自分に「自信がある」となっています。

*調査実施期間：2019年10月15日～11月11日。
調査対象：県内の公立学校に通う小学5年生・中学2年生の児童生徒及びその保護者1997世帯
回収数（回収率）：644サンプル（32.2%）

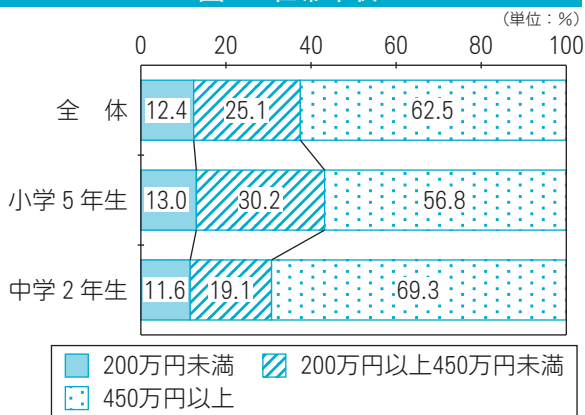
1. 家計の状況について

(1) 世帯年収

世帯の昨年（2018年）の年間収入は、全体の62.5%が450万円以上ある。

子どもの学齢別に見ると、小学5年生では「450万円以上」56.8%、「200万円以上450万円未満」30.2%。中学2年生では「450万円以上」69.3%、「200万円以上450万円未満」19.1%となっている（図1）。

図1：世帯年収



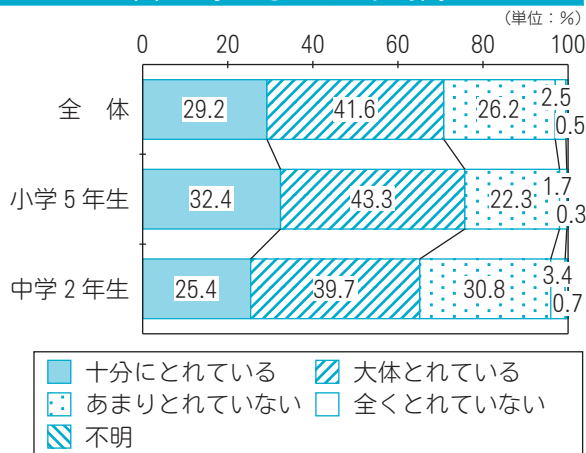
（出典）「子どもの生活に関する実態調査結果」を参考に当研究所で作成

2. 子育てについて

(1) 子どもと過ごす時間の評価

「お子さんと一緒に過ごす時間は十分にとれていると思うか」については「とれている」（十分にとれている+大体とれている）が多くを占め、全体では70.8%、小学5年生が75.7%、中学2年生は65.1%となっている（図2）。

図2：子どもと過ごす時間



（出典）「子どもの生活に関する実態調査結果」を参考に当研究所で作成

(2) 子どもの将来についての不安（複数回答）

「子どもの将来について不安に思うこと」については、「十分な教育費の確保が困難」43.8%が最も多く、次いで「子どもの自立について」31.2%。また、「特段心配はしていない」も23.8%となっている（表1）。

表1：子どもの将来についての不安（複数回答）（上位5項目）

	全体	小学5年生	中学2年生
十分な教育費の確保が困難	43.8	44.7	42.7
子どもの自立について	31.2	28.1	34.9
特段心配はしていない	23.8	24.1	23.4
子どもの学力が低い	19.6	16.0	23.7
子どもへの社会的支援が不十分	7.3	9.7	4.4

（出典）「子どもの生活に関する実態調査結果」を参考に当研究所で作成

3. 子どもの生活実態について（子ども自身の回答）

（1）子どもの平日放課後の過ごし方（複数回答）

月曜日～金曜日の放課後の過ごし方は、全体では「自宅にいる」76.1%が最も多くなっている。小学5年生は「自宅にいる」83.4%が最も多いが、中学2年生は「学校のクラブ」74.9%が最も多くなっている（表2）。

表2：平日放課後の過ごし方（複数回答）

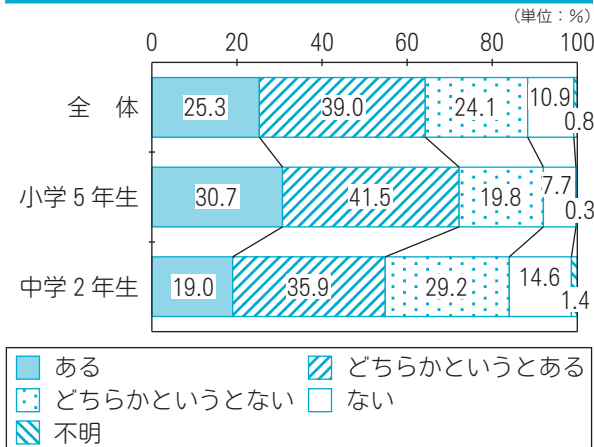
	全 体	小学5年生	中学2年生
自宅にいる	76.1	83.4	67.5
塾や習い事	61.0	62.2	59.7
学校のクラブ	36.8	4.6	74.9
友達の家	18.9	31.8	3.7
祖父母・親戚の家	6.8	10.0	3.1
地域のクラブ活動	5.4	5.2	5.8
放課後児童クラブ	4.0	6.9	0.7
その他	3.1	4.0	2.0
不明	0.5	0.3	0.7

（出典）「子どもの生活に関する実態調査結果」を参考に当研究所で作成

（2）自信の有無

「自分に自信があるか」については、全体では「自信がある」（ある＋どちらかというところ）は64.3%となっている。しかし、小学5年生が72.2%であるのに対し、中学2年生は54.9%となっている（図3）。

図3：自信の有無

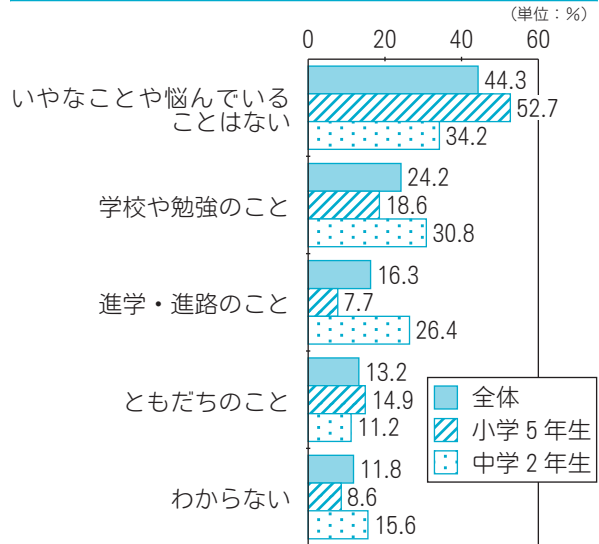


（出典）「子どもの生活に関する実態調査結果」を参考に当研究所で作成

（3）いやなことや悩んでいること（複数回答）

「今、あなたは、いやなことや悩んでいることがあるか」については、「いやなことや悩んでいることはない」が最も多く全体では44.3%、小学5年生は52.7%、中学2年生は34.2%となっている（図4）。

図4：いやなことや悩んでいること（複数回答）（上位5項目）

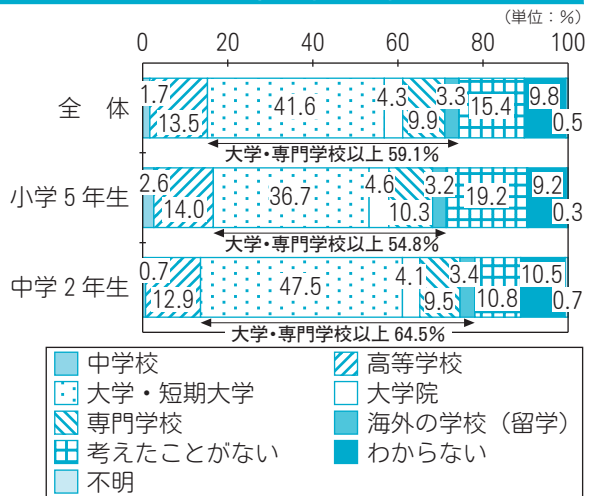


（出典）「子どもの生活に関する実態調査結果」を参考に当研究所で作成

（4）将来の希望進学先

「あなたは、将来どの学校まで行きたいか」については、小学5年生の54.8%、中学2年生の64.5%が「大学・専門学校以上」の進学を希望している（図5）。

図5：将来の希望進学先



（出典）「子どもの生活に関する実態調査結果」を参考に当研究所で作成

（奥 桂子）